



今回のゴキョピーク・レンジョパスは地球の屋根と言われるエベレストを始め8000m級の山々を見渡し結構厳しいトレッキングであった。ルクラという小さな飛行場に降り立つ飛行機は15人乗り、天候が悪いと飛べない。今回はヘリで入ることができた。ヘリのおかげで絶景をネパールはどこを見ても棚田が広がる。



レンジョパス越えは標高 5300m の高所と雪が残っておりアイゼンも含めて注意がいる。景色も一変し上は日中でも寒い、私が1時間ほど遅れ、吉野さんとポーターを待たせたようである。



ナムチェバザールまでは簡単に入れ、ナムチェの丘を散策するとエベレストを始め雪をいただいた山に囲まれる。エベレストビューホテルを中心に回ると牧歌的風景を楽しみながら高度順応ができた。

トレッキングコースを登っていくと所々で牧歌的な村々を通過しながら少しずつ険しさを見せてくる。奥はチョーユー8200m



ルンデに一泊して翌日の昼食はターメの村で、純朴な人々の住む素晴らしい村を訪問できた。先生と子供たちも明るく美しいたたずまいの村であった。

帰りのナムチェとルクラ間のガートではお葬式が行われておりロッジでもお坊さんが一緒に宿泊と珍しい光景に出あえた。ここはチベット仏教、帰りのカトマンズではヒンズー教とネパール仏教も含めて聖地を廻りその違いをつかむことができた。

